

News Letter

世界に賛美と福音を

工藤篤子ワークショップ・ミニストリーズ

<http://akworship.com/>

Vol.77

SPRING
2020



AKWM

(旧、工藤篤子音楽ミニストリーズ)

叫びと賛美

工藤篤子ワークショップ・ミニストリーズ 代表

工藤 篤子

神よ 私の心は揺るぎません。私の心は揺るぎません。
私は歌い ほめ歌います。

(詩篇57篇7節)



詩篇を真剣に学ぶようになったのは、2011年3月11日、世界を震撼させた東日本大震災が起こる一か月前のことです。その最初に選んだのが57篇でした。2年かけてすべての詩篇をひと通り学び終えた頃には、詩篇から詩篇を理解し、また詩篇から聖書全体、あるいは聖書全体から詩篇を理解し始めるようになっていました。詩篇は聖書の心臓と言われています。私の中にも、詩篇が聖書の心臓になっていることを覚えるようになりました。

詩篇57篇は「私をあわれんでください。神よ。私をあわれんでください。」で始まります。3.11では、激しい痛みと共に、詩篇57篇をもって、神にあわれみを叫ぶ日が続きました。欧州に住む日本人クリスチャンの多くは、ある意味、日本に住むクリスチャンより深い痛みを覚えたように思います。遠く離れた地でなすすべもなく、自分たちの祖国への祈りの足りなさ故にこのことが起こったのではないかという悔恨を覚えたのです。その年の夏に開催された「ヨーロッパ・キリスト者の集い」では、被災地のための祈りと賛美集会にて、バッハの「口短調ミサ」の冒頭の合唱曲「キリエ・エレイソン」(主よ あわれみたまえ)をもって、主にあわれみを乞い叫びました。

私たちが、神に「あわれんでください!」と叫ぶのは、私たちの主はあわれみをもって、私たちの叫びを聞き、応えてくださるお方であることを知っているからです。旧約聖書では、詩篇作者と預言者たちが「あわれんでください!」と何度も神に叫んでいます。新約聖書でも、救いと癒しを求める人々が、イエスに向かって叫んでいます。

詩篇57篇では、敵に囲まれてうなだれていたダビデが、突然、

「神よ あなたが天で あなたの栄光が 全世界であがめられますように。」(5節)とほめたたえています。すると、洞穴にのがれていた彼は、「私のために すべてを成し遂げてくださる神」(2節)が敵を滅ぼしてくださることを確信し、たましいを奮い立たせて、琴をもって主を賛美し始めました。

「神よ 私の心は揺るぎません。私の心は揺るぎません。私は歌い ほめ歌います。私のたましいよ 目を覚ませ。琴よ 豎琴よ 目を覚ませ。私は暁を呼び覚まそう。主よ 私は国々の民の間で あなたに感謝し もろもろの国民の間で あなたをほめ歌います。」(7 - 9節)

賛美には力があります。それは、神がイスラエルの賛美の上に座してくださるから、つまり、そこに神がご臨在くださり、栄光をあらわしてくださるからです。

このニュースレターが届く頃は、新型コロナウイルスがさらに蔓延しているのでしょうか、あるいは収束に向かっているのでしょうか。いずれにしても、この苦難の時に、私たち信仰者たち、教会が、神にあわれみを乞い(叫び)、預言者ダニエルのように、人々や国家の罪を自分の罪としてとりなしの祈りをささげ、すべてを成し遂げてくださる神により頼み、心を奮い立たせて、癒し、回復、すべての問題の解決、祝福、栄光をもたらしてくださる唯一の神を、もっともっと高らかにほめたたえて行くではありませんか。

あなたの恵みは大きく 天にまで及び あなたのまことは雲にまで及ぶからです。神よ あなたが天で あなたの栄光が全地であがめられますように。(10 - 11節)

アニュス・デイ(神の子羊)

イエス様の十字架を見上げる受難日にこの原稿を書いています。

マドリッドで邦人伝道のために力を注いで来られた敬愛する友人が、4月1日、新型コロナウイルスに感染していることが分かりました。看護師である彼女は、休む間もなく、感染者の治療に携わってきました。スペインの状況は、皆さんもニュースで見聞きされてきたことと思いますが、4月10日現在で、感染者数15万人以上、そのうちの割以上の死者が出ています。イタリア同様、感染者の急激な増大に医療体制が追いつかず、医療従事者への保護具が圧倒的に不足し、そのため、多くの医療関係者にも感染が広がっています。

友人は家族と隔離された部屋で療養を続け、今、やっと快方に向かっているとの知らせを受けました。彼女は今、「ダニエルの祈り」(ダニエル9:4-19)をもって、人々のためにとりなしの祈りを神にささげています。「ダニエルの祈り」とは、預言者ダニエルが、民の罪を自分の罪として告白し、神にあわれみと赦しを嘆願する祈りです。とりなしの祈りが出来るのはクリスチャンだけです。私も数日前から「ダニエルの祈り」を祈るようになりました。

「彼(イエス)は私たちのわずらいを担い、私たちの病を負った。」(マタイ8:17)

今日、このみことばを読んだ時、友人も、人々のわずらい、病をその身に負ったのだと思いました。戦場のような医療現場で休む間もなく奮闘し、苦しみながらなすべもなく死にゆく多くの人々を見、心痛を覚え、涙し、その一端をその身に負って

主の十字架に近づき、そうやって今、神の祭司として、深いとりなしの祈りをささげる時に導かれたのではないか、そのように思われています。

キリストは、すべての人々の罪のために、ほふられる神の子羊となりました。大祭司として私たちの赦しを神に嘆願し、全世界の罪をその身に負い、「罪」となって父なる神から拒絶され、さばかれました。そして3日目に復活され、ご自分を救い主として信じる者に、永遠のいのちをお与えになりました。

アニュス・デイ

アニュス・デイ(Agnus Dei)とは「神の子羊」という意味で、洗礼者ヨハネが語った「見よ、世の罪を取り除く神の子羊」(ヨハネ1:29)に基づく、カトリック教会典礼の代表的な賛美歌です。日本のカトリック教会では、「平和の賛美」と呼ばれています。アニュス・デイが歌われるようになったのは、7世紀末、シリア人教皇セルギウス一世が、聖体のパンを裂く時に歌うキリストへの賛歌としてミサに取り入れたのが起源のようです。

神の子羊、世の罪を除く方よ、われらをあわれみ給え。
神の子羊、世の罪を除く方よ、われらをあわれみ給え。
神の子羊、世の罪を除く方よ、われらに平安を与え給え。

十字架の上の神の小羊

アニュス・デイは、グロリア(神の栄光をたたえる賛歌、頌栄)やサンクトゥス(聖なるかな)同様、プロテスタント教会の礼拝でも歌い継がれて来ました。特に有名なものは、ドイツ

このニュースレターは、次の方々のご支援をいただいています。

**VIP関西センター
テナント募集**



7F19坪 5F30坪 地下鉄北浜駅
②号出口正面

〒541-0041 大阪市中央区北浜2-3-10
TEL.06-6232-1185 担当者:梅津

オフィス家具全般

(有)吉屋

〒558-0014
大阪府大阪市
住吉区我孫子5-4-13
TEL 06-6699-2415

ミクニカイ株式会社
水とエネルギー

本社 〒532-0033
大阪市淀川区新高3丁目7番9号
TEL(06)6394-0671
FAX(06)6394-0710
E-mail:sakamotot@mikunikikai.com
URL:http://www.mikunikikai.com

atelier
phos
DESIGN<=>WORK



教会や少人数グループでの
イスラエルツアーを
計画しませんか

ご予算や人数に応じて、ご要望にお応えできる聖地旅行を企画、見積もりいたします。充実、お手頃価格、手作りのツアーをなさいませんか。
お気軽にご相談ください。

**(株)ホーリーランド
ツーリストセンター**

担当:石田
TEL:06-6226-1307
FAX:06-6226-1308
E-mail:office@htcjrm.com

お知らせ

「賛美セミナー」開催をご希望、あるいはご検討くださる教会・団体がありましたら、お気軽に事務局まで、ご連絡、ご相談ください。



人ニコラウス・デツイウス Nikolaus Decius (1490-1546) による
 アニュス・デイ "O Lamm Gottes, unschuldig" (福音讃美歌
 123「十字架の上の神の小羊」、讃美歌257「十字架のうえに」、
 讃美歌21 87「罪なき小羊」)です。

デツイウスはフランシスコ会の修道士でしたが、ルターの
 教えに共鳴し、修道士をやめて、ルター派の説教者となり、カト
 リック典礼の「グロリア」、「サンクトゥス」、「アニュス・デイ」
 をラテン語からドイツ語に訳しました。彼は後に改革派に転じ、
 ツヴィングリ派の説教者となりました。

デツイウス独訳の "O Lamm Gottes, unschuldig" は、バッハ
 の「マタイ受難曲」の冒頭の合唱曲「来たれ、娘たちよ、私の
 嘆きを助けよ」と重なり合って歌われる二重合唱として、
 感動的に組み込まれています。

数年前、「教会福音讃美歌」に、齊藤一誠氏が訳され、また、
 植木紀夫氏が編曲された "O Lamm Gottes, unschuldig"
 「十字架の上の神の小羊」を見つけた時、深い感動を覚え、
 コンサートのプログラムにも加えるようになりました。

今、私たちは、十字架の上の神の子羊を、しかと見上げる時
 なのではないでしょうか。コロナウイルスが世界を揺るがす中、
 私たちクリスチャンでさえも恐れを抱き、不安に駆られています。
 だからこそ、今、すべてのわずらい、病、罪をその身に負って
 くださった子羊を見上げようではありませんか。イエスはこう
 語られました。

モーセが荒野で蛇を上げたように、人の子も上げら
 れなければなりません。(ヨハネ3:14)

エジプトの民は、荒野で神とモーセに逆らい、「われわれには
 パンもなく水もない、神が天から与えてくださったマナには
 もう飽き飽きした」と言いました。それで、主は怒って民の中に
 燃える蛇を送り、蛇は民にかみついたので、多くの人が死にま
 した。そこでモーセは、主の命によって民のために青銅の蛇を
 作り、旗ざおの上につけました。すると、もし蛇がかんでも、

その者がそれを仰ぎ見ると、生きたのです。(民数記21:4-9
 参照)

イエスは、燃える蛇、つまり私たちの「罪」となって十字架に
 上げられました。このお方を見上げ、十字架のイエスの姿こそ
 私の罪であることを知り、神の子羊としてほふられた方が私た
 ちのために何をしてくださったかを悟るなら、私たちは生きる
 のです。イエスは、人々にあざけられ、激しい苦しみの中で、大
 祭司として私たちのために父なる神にとりなし、いのちである
 血潮を注ぎ出し、のろいとなり、神のさばきを受けて、私たちに
 永遠のいのち、癒し、平安(平和)を与えてくださいました。です
 から、今、子羊に感謝と賛美をささげ、ダニエルのように、私た
 ちのためにすべてを成し遂げてくださる神に、自分のため、周り
 の人々のため、国の代表者たち、日本、世界の国々のために、と
 りなしの祈りをささげて行こうではありませんか。

十字架の上の神の小羊

Nikolaus Decius 訳: 齊藤一誠

- 十字架の上の 神の小羊
 あざけりの声 ひたすら忍び
 わが罪のために いのちも捨てて
 おお、わが主 あわれみたまえ
- 十字架の上の 神の小羊
 あざけりの声 ひたすら忍び
 世の罪のために いのちも捨てて
 おお、わが主 平和をたまえ



フランススコ・デ・スルバランの「神の子羊」

工藤 篤子 著書&賛美CD 好評発売中 … ご注文、お問い合わせはAKWM事務局まで



主よ人の望みの喜びよ
 定価 1,500円(税込)



よき力に守られて
 定価 2,500円(税込)



ほんとうの願い
 定価 3,000円(税込)



神だけが
 定価 2,500円(税込)



カンシオン
 定価 2,500円(税込)



Come To Me
 定価 3,000円(税込)



讃美 Adorar
 定価 1,500円(税込)



賛美のこころ
 定価 1,600円(税込) (注※)



賛美セミナー II
 DVD 2枚組

'15年11月7日大阪セミナー録画
 定価 4,000円(税込)

賛美セミナー I
 DVD 2枚組

'13年11月4日大阪セミナー録画
 定価 4,000円(税込)

賛美セミナー I
 CD 4枚組

'13年11月9日東京セミナー録音
 定価 4,000円(税込)

賛美セミナーIIと賛美セミナーIのアイテムを合わせてご注文される場合、特別価格でお求め
 いただけます。その際は、オンラインストアではなく、メール、電話、ファックスでお申し込みください。

注※「賛美のこころ」について...AKWMの在庫は完売しました。ご希望の方は、
 キリスト教書店または出版社イーグレープよりお求めください。



Schedule

工藤篤子 2020年スケジュール

10月	11月	12月
11日(日) 札幌聖書キリスト教会 賛美コンサート	14日(土) 三公記念館ゴスペルコンサート(徳島)	13日(日) 仙台グレースチャペル チャペル・コンサート
18日(日) 川崎ホーリネス教会 賛美コンサート	29日(日) チャペル・こひつじ チャペル・コンサート(大阪)	20日(日) 主イエス・キリスト教会 クリスマス会(大阪)
25日(日) 宝塚栄光教会 チャペル・コンサート		



愛する皆様へ

主の御名をほめたたえます。
お元気でいらっしゃいますか？

いつもAKWMの働きのためにご支援とお祈りをくださり、心から感謝いたします。
2月からの新型コロナウイルス感染拡大により、今年9月までに予定されていた、オーストラリア、北米、日本、ブラジルでの賛美奉仕は、今年冬と来年に延期になりました。欧州でも深刻な状況が続き、特に、私の第二のふるさとであるマドリッドでは、3月に友人のお母様が脳梗塞とコロナウイルス感染で亡くなり、医療現場で奮闘しながら邦人集会の世話役として労して来られた、愛する姉妹が感染しましたが、現在(4月12日)快方に向かっています。中ページにも姉妹のことを書かせていただきましたのでお読みください。

この数か月、万全の注意を払いながら、約一か月ごとに、札幌と大阪を往復しています。札幌では父の介護のため、大阪では祈りとみことばに集中するためです。「もっと祈りなさい」、という主からの語りかけがあったのは、ドイツから日本に帰国後半年ばかり経った、一昨年の秋のことです。以来一日一時間の祈りを生活の軸とし、断食祈禱、徹夜祈禱にも導かれるようになりました。主は、ご自身の御手が伸ばされるために、私たちの祈りを用いられます。そして、今、世界中で、多くの教会、信者たちが、主の御前にひざまずき、叫び祈る光景を、各国の友人たちのニュースやインターネットで目にするようになりました。この祈りの輪がさらに広がって行きますように！私たちの祈りを通して、主がこの感染を一日も早く収束させてくださり、イエス・キリストの救いが多くの人々にもたらされますように！

皆さまに、どのような時にも変わらない主の平安と恵みが豊かにありますように！

主にありて 工藤 篤子



工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ 事務局
Atsuko Kudo Worship Ministries

AKWMの伝道活動は、皆様のお祈りと献金と奉仕によって成り立っています。ご支援くださる皆様がこの活動の一員と考えています。この活動がますます主に用いられ、宣教が進みますように、どうぞ一員としてご参加、ご支援ください。

住所が変わりました

〒590-0027 大阪府堺市堺区榎元町5丁5番9号
TEL.090-5241-5086 FAX.050-3153-0648

郵便振替口座 00930-1-165955 「工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ」
銀行振込口座 三菱UFJ銀行 瓦町支店(店番003)
普通預金0133752 「工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ」

※三菱UFJ銀行にお振り込みくださる場合はお名前の表示をお願いいたします。あるいは事務局にご連絡いただけますなら感謝です。

✉ メールマガジン登録受付中！

office@akworship.com

メルマガ購読を希望される方や、その他のご連絡などは、上記のメールアドレスまでお願いします。メールマガジン、ニュースレターは、下記のホームページでもご覧いただけます。



Website URL
<http://akworship.com/>